

ごみ処理基本計画の進行管理(平成29年度実績)(案)

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

— 未来へつなぐ“循環型都市よこすか”の創造 —

資源循環部 資源循環総務課

平成31年1月

ごみ処理基本計画の評価指標および実績値・目標値

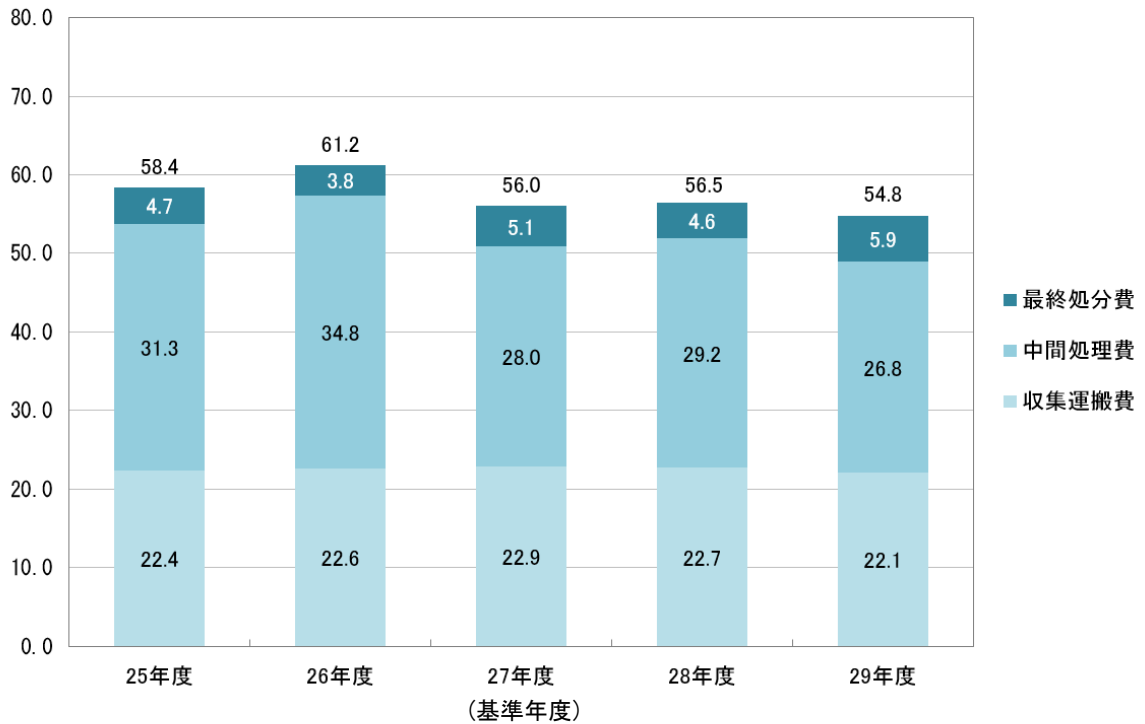
項 目		単 位	平成27年度 (基準年度)	平成28年度	平成29年度	平成33年度 (目標年度)	
循環型 社会 形成	排出量	総排出量	t/年	138,355	134,880	133,041	123,000
		ごみ量	t/年	114,093	111,851	110,950	100,000
		集団資源回収量	t/年	24,262	23,029	22,091	23,000
		1人1日排出量 注1)	g/人・日	750	743	742	695
		1人1日総排出量 注1) (集団回収を含む)	g/人・日	910	896	890	855
	処理量	焼却量 (焼却率)	t/年 (%)	93,409 (81.9%)	92,487 (82.7%)	91,652 (82.6%)	82,400 (82.4%)
		埋立量 (埋立処分率)	t/年 (%)	5,352 (4.7%)	5,015 (4.5%)	5,083 (4.6%)	1,700 (1.7%)
		資源化量	t/年	45,197	43,797	42,455	44,000
	資源化率	資源化率	%	32.7%	32.5%	31.9%	36%
	経 済 性	注2) 処理単価	総処理経費	円/t	49,064	50,346	49,221
収集経費			円/t	27,073	27,603	27,126	—
中間処理経費			円/t	24,506	27,204	25,119	—
最終処分(埋立)経費			円/t	94,856	90,940	117,591	—
資源化経費			円/t	30,473	34,095	33,999	—
1人当たり年間処理経費			円/人・年	13,766	14,006	13,678	—
【参考】* 住民基本台帳人口		人	415,375	412,413	409,478	—	
* 将来推計人口(H26年5月推計)			415,487	412,011	408,369	394,100	

注1) 「1人1日排出量」及び「1人1日総排出量(集団回収を含む)」の実績は、「ごみ量」及び「総排出量」を「住民基本台帳人口」で割っているが、平成33年度(目標年度)は「将来推計人口」(横須賀市都市政策研究所にて推計)で割って算出している。

注2) 処理単価は、神奈川県一般廃棄物処理実績報告の作成基準に基づいて算定しているため、算出の基となる排出量、処理量は、上記数量と異なっている。また、平成27年度の処理単価は、東日本大震災の影響により生じた追加的費用について東京電力損害賠償金を減額して算出しているため、ごみ処理基本計画書48ページ表6-3-1に記載した減額前の処理単価と一致していない。

ごみ処理経費の推移

(億円/年)



(注) 平成 25 年度から平成 27 年度は、東京電力損害賠償金額を減額して算定している。

(注) 各処理経費は、神奈川県一般廃棄物処理実績報告の作成基準に基づいて算出している。

【各経費の主な内訳】

- ・収集運搬費…人件費（収集担当職員、一般職員※）、車両購入費、ごみ収集直営事業、ごみ収集委託事業、自動車管理事業 等
 - ・中間処理費…人件費（工場操作担当職員等、一般職員※）、リサイクルプラザ再資源化事業、南処理工場運営事業 等
 - ・最終処分費…人件費（一般職員※）、ごみ最終処分事業、長坂埋立地浄化センター管理事業 等
- ※一般職員の人件費は、収集運搬・中間処理・最終処分の各事業費の規模で按分して配分している。

ごみ処理基本計画 関連施策・事業等の実施状況

関連施策・事業等の体系

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B 1 : 一部実施している又は一部実施した。
B 2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策	具体的施策	記載頁	担当課	評価	
1. 重点施策 《第1・3章》	(1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進	①横須賀ごみ処理施設の建設	29	広域処理施設建設室	A
	(2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施	①市民に対する分別啓発の推進	28	資源循環推進課	A
		②事業者に対する分別啓発の促進	28	廃棄物対策課	A
	(3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施	①植木剪定枝の資源化	29	資源循環総務課	B 2
		②その他新規資源化策の検討	30	資源循環総務課	A
					資源循環推進課
2. ごみの発生・排出抑制のための方策 《第4章》	(1) 発生抑制 (リデュース)	①市民に対する発生抑制に関する啓発	33	資源循環推進課	A
		②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助	33	資源循環推進課	A
		③食品ロス削減に向けた取組み	33	資源循環総務課	A
					資源循環推進課
	④事業者に対する発生抑制に関する啓発	33	廃棄物対策課	A	
	(2) 再使用 (リユース)	①再生家具の提供	33	リサイクルプラザ	A
		②古本・古着市の開催	33	リサイクルプラザ	A
	(3) 再生利用 (リサイクル)	①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進	34	資源循環推進課	A
		②グリーン購入の推進	34	環境企画課	A
		③公共工事等における再生資源の使用	34	環境企画課	A
		④リサイクルに向けた事業者の取組み支援	34	廃棄物対策課	A
	(4) 周知・啓発	①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行	35	資源循環推進課	A
		②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行	35	資源循環推進課	A
		③外国人向け分別パンフレットの発行	35	資源循環推進課	A
		④ごみ分別アプリの配信	35	資源循環推進課	A
		⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発	35	資源循環推進課	A
		⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催	35	資源循環推進課	A
		⑦アイクルフェアの開催	35	リサイクルプラザ	A
		⑧市民と協働した啓発活動の実施	35	資源循環推進課	A
⑨アイクル施設見学による周知・啓発		35	リサイクルプラザ	A	
⑩南処理工場見学による適正処理の周知		35	南処理工場	A	
⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導		35	廃棄物対策課	A	
⑫ごみ集積所における排出指導		35	資源循環推進課	A	
			資源循環久里浜事務所	A	
(5) その他	①各リサイクル法に関する周知・啓発	35	資源循環総務課	A	
			資源循環推進課	A	
			廃棄物対策課	A	
			リサイクルプラザ	A	
	②家庭ごみ有料化の検討	35	資源循環総務課	B 1	
③廃棄物処理手数料の検討	35	資源循環総務課	B 1		

注) 評価基準 A : 実施している又は実施した。B 1 : 一部実施している又は一部実施した。
B 2 : 実施に向け準備を進めた。C : 実施していない。

基本施策	具体的施策	記載頁	担当課	評価	
3. 分別収集と適正処理 《第5章》	(1) 分別収集区分	①ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し	36	資源循環総務課	A
				資源循環推進課	A
	(2) 収集運搬計画	①直営委託区域	37	資源循環総務課	A
	(3) 中間処理計画	①再資源化処理（リサイクルプラザ“アイクル”） ②焼却処理（南処理工場） ③粗大ごみ処理（南処理工場） ④民間施設における中間処理	39	リサイクルプラザ	A
			40	南処理工場	A
			40	南処理工場	A
			40	資源循環総務課	A
				資源循環推進課	A
(4) 最終処分計画	①最終処分	41	南処理工場	A	
(5) 施設整備状況	①施設の長寿命化・延命化対策	43	資源循環施設課	A	
(6) 広域処理施設整備状況	①横須賀ごみ処理施設の整備	43	広域処理施設建設室	A	
4. その他 必要事項 《第6章》	(1) 計画の進行管理	①計画の点検・評価・見直しの実施	47	資源循環総務課	A
	(2) 家庭ごみ有料化の検討	①家庭ごみ有料化の検討	49	資源循環総務課	B 1
	(3) 高齢化社会対策	①高齢者のごみ出し支援の検討	49	資源循環総務課	A
				資源循環推進課	A
	(4) 災害時の廃棄物対策	①災害時の廃棄物処理体制の確保	50	資源循環総務課	A
	(5) 不法投棄対策	①不法投棄防止対策の強化	52	資源循環推進課	A
	(6) ポイ捨て防止及び路上禁煙	①ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底 ②クリーンよこすかの推進に関すること	52	資源循環推進課	A
			52	資源循環推進課	A
	(7) 海岸漂着ごみ	①海岸漂着ごみの円滑処理	52	資源循環推進課	A
(8) 適正処理困難物・排出禁止物	①適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導	52	資源循環総務課	A	
			資源循環推進課	A	
			南処理工場	A	
			資源循環久里浜事務所	A	
(9) 制度改善要望	①一般廃棄物の処理に関する制度改善要望	53	資源循環総務課	B 1	

関連施策・事業等の取組実績

1. 重点施策

(1) ごみ処理広域化計画による施設整備の推進

①横須賀ごみ処理施設の建設（広域処理施設建設室）

- 平成 21 年 3 月に策定した「横須賀市三浦市ごみ処理広域化基本計画」、平成 24 年度に策定した「横須賀ごみ処理施設整備実施計画」に基づき、平成 31 年度の施設稼働に向けて、各種工事等を実施し、引き続き施設整備を推進しました。

(2) 継続的な減量化・資源化啓発事業の実施

①市民に対する分別啓発の推進（資源循環推進課）

- 人口減少等により、集団資源回収量は年々減少傾向にありますが、「その他の紙」の回収促進に努めました。集団資源回収量は 22,091 トンでした。

参考指標	H27	H28	H29
集団資源回収量	24,262 トン	23,029 トン	22,091 トン

②事業者に対する分別啓発の促進（廃棄物対策課）

- 事業者向け啓発ポスター 1,500 部を作製しました。
- 事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を 215 件受理し、立入検査を 14 件実施しました。

参考指標	H27	H28	H29
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	207 件	203 件	215 件
事業系一般廃棄物多量排出事業者立入検査	54 件	39 件	14 件

(3) 植木剪定枝等、新規資源化策の実施

①植木剪定枝の資源化（資源循環総務課）

- 事業系剪定枝の受入先（民間事業者）を調査し、地域団体の清掃活動等で分別された剪定枝の資源化について、実施方法を検討しました。

②その他新規資源化策の検討（資源循環総務課）（資源循環推進課）

- 平成 29 年 9 月から集団資源回収で割れた廃蛍光管の回収を開始しました。
- 使用済み小型家電回収品目へのノートパソコン追加を検討しました。

2. ごみの発生・排出抑制のための方策

(1) 発生抑制（リデュース）

①市民に対する発生抑制に関する啓発（資源循環推進課）

- ・ごみ教室やごみトークの開催、ごみ分別パンフレットの発行などにより啓発を行いました（2. (4)①～⑩⑫のとおり）。

②生ごみ等減量化処理機器の購入費補助（資源循環推進課）

- ・電気式生ごみ処理機 51 基、EM処理容器 3 基、コンポスト容器 23 基、小枝粉碎機 6 基の購入費を補助しました（購入費の1/2、限度額3万円）。
- ・キエーロ講習会等を実施し、生ごみ等減量化処理機器の普及に努めました。

参考指標	H27	H28	H29
電気式生ごみ処理機	53 基	56 基	51 基
EM処理容器	6 基	5 基	3 基
コンポスト容器	34 基	37 基	23 基
小枝粉碎機	6 基	5 基	6 基

③食品ロス削減に向けた取組み（資源循環総務課）（資源循環推進課）

- ・アイクルフェアで、食品ロスに関するパネル展示を3回実施しました。
- ・神奈川県が主催する検討会に参加し、「食品廃棄物の発生量の把握方法」、「効果的な普及啓発手法」について検討を行いました。

④事業者に対する発生抑制に関する啓発（廃棄物対策課）

- ・事業者向け啓発ポスター1,500部を作製しました。（再掲）
- ・事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を215件受理し、立入検査を14件実施しました。（再掲）

参考指標	H27	H28	H29
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	207 件	203 件	215 件
事業系一般廃棄物多量排出事業者立入検査	54 件	39 件	14 件

(2) 再使用（リユース）

①再生家具の提供（リサイクルプラザ）

- ・粗大ごみで回収した家具の一部を補修して展示し、3回のアイクルフェアで136個提供しました。近年は、粗大ごみ中の再生できる小型の家具が減少傾向にあるため、再生家具の提供数も減少しています。

参考指標	H27	H28	H29
再生家具提供個数	143 個	154 個	136 個

②古本・古着市の開催（リサイクルプラザ）

- ・ 集団資源回収で回収した古本・古着について、アイクルフェアで、古本・古着市を3回開催しました。

参考指標	H27	H28	H29
古本・古着市	3回	3回	3回

(3)再生利用（リサイクル）

①庁舎内から出るごみの減量化・資源化の推進（資源循環推進課）

- ・ 庁舎内から出る古紙及び廃蛍光管の資源化を継続して実施し、古紙 176,990 kg、廃蛍光管 3,570 kg（14,280本）を回収しました。 ※本数は、1kgあたり4本に換算して算出

参考指標	H27	H28	H29
古紙	174,880kg	164,040kg	176,990kg
廃蛍光管	2,749 kg 10,996本	3,498kg 13,992本	3,570 kg 14,280本

②グリーン購入の推進（環境企画課）

- ・ 「横須賀市グリーン購入調達方針」において、毎年、対象品目や判断基準を見直し、全庁的にグリーン購入の推進に取り組んでいます。対象品目 20 分野 98 品目で集計し、8分野 38 品目で 90%以上を達成しました。

参考指標	H27	H28	H29
グリーン購入	対象品目 21 分野 97 品目で集計し、 10 分野 38 品目で 90%以上を達成	対象品目 21 分野 98 品目で集計し、 7 分野 38 品目で 90%以上を達成	対象品目 20 分野 98 品目で集計し、 8 分野 38 品目で 90%以上を達成

③公共工事等における再生資源の使用（環境企画課）

- ・ 「横須賀市グリーン購入調達方針」に基づく特定調達品目のうち、公共工事の対象品目 31 分類 69 品目中 2 分類 2 品目で 100%を達成しました。

参考指標	H27	H28	H29
公共工事	仕様を満たす適合品なし。	2 分類 2 品目で 100%を達成	2 分類 2 品目で 100%を達成

④リサイクルに向けた事業者の取組み支援（廃棄物対策課）

- ・ 事業者向け啓発ポスター1,500部を作製しました（再掲）。
- ・ 神奈川県が主催する検討会に参加し、事業系食品廃棄物のリサイクル促進について検討しました。

(4)周知・啓発

①ごみ教室の開催、啓発冊子の発行（資源循環推進課）

- ・ 子どもごみ教室を37回開催し2,129人が参加しました。
- ・ 児童用ごみ減量啓発冊子を4,500部作製しました。

参考指標	H27	H28	H29
子どもごみ教室	34回 1,894人	31回 1,972人	37回 2,129人
啓発冊子	4,500部作製	4,500部作製	4,500部作製

②ごみ分別パンフレットや収集カレンダーの発行（資源循環推進課）

- ・分別収集カレンダー220,000部作製、パンフレット25,000部作製しました。

参考指標	H27	H28	H29
分別収集カレンダー	220,000部作製	220,000部作製	220,000部作製
パンフレット	25,000部作製	25,000部作製	25,000部作製

③外国人向け分別パンフレットの発行（資源循環推進課）

- ・英語4,000部、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語各250部作製しました。

参考指標	H27	H28	H29
英語版	4,000部作製	4,000部作製	4,000部作製
中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語版	各250部作製	各250部作製	各250部作製

④ごみ分別アプリの配信（資源循環推進課）

- ・スマートフォン用ごみ分別アプリのダウンロード数は、4,818でした。

参考指標	H27	H28	H29
ダウンロード数	2,857	3,641	4,818

⑤広報紙・ホームページによる周知・啓発（資源循環推進課）

- ・広報よこすかに12回、43件を掲載しました。
- ・HP「ごみデータ in よこすか」を毎月更新し、ごみ量の推移を周知しました。
- ・ポスター・標語を募集しました。（小中学生応募数：ポスター1,440点、標語699点）
- ・立て看板、ポスター、懸垂幕、横断幕等による啓発を実施しました（6月、10月各1か月間）

参考指標	H27	H28	H29
広報よこすか	11回 29件	12回 35件	12回 43件
ポスター	1,963点	1,506点	1,440点
標語	669点	673点	699点

⑥ごみトーク・ごみ問題学習会の開催（資源循環推進課）

- ・ごみトークを42回実施し2,665人、ごみ問題学習会を15回実施し288人が参加しました。

参考指標	H27	H28	H29
ごみトーク	32回 2,473人	30回 2,366人	42回 2,665人
ごみ問題学習会	17回 414人	13回 265人	15回 288人

⑦アイクルフェアの開催（リサイクルプラザ）

- ・アイクルフェアを3回開催しました。悪天候により、来場者数は延べ8,000人と例年より減少しました。

参考指標	H27	H28	H29
アイクルフェア	3回 延べ10,400人	3回 延べ9,500人	3回 延べ8,000人

⑧市民と協働した啓発活動の実施（資源循環推進課）

- ・6月をクリーンよこすか推進月間とし、美化活動に延べ91,971人、クリーンよこすか市民のつどいに547人が参加しました。
- ・11月にクリーンよこすか中央会議を実施し687人が参加しました。
- ・ごみダイエット推進員研修会を10回実施し245人、施設見学会を9回実施し128人が参加しました。
- ・6月に11日間、11月に7日間、ポイ捨て防止街頭キャンペーンを実施し290人が参加しました。

参考指標	H27	H28	H29
クリーンよこすか推進月間における美化活動の実施	延べ106,458人	延べ95,760人	延べ91,971人
クリーンよこすか市民のつどい	565人	546人	547人
クリーンよこすか中央会議	718人	670人	687人
ごみダイエット推進員研修会	10回 248人	10回 218人	10回 245人
施設見学会	9回 124人	3回 62人	9回 128人
ポイ捨て防止街頭キャンペーン	346人	328人	290人

⑨アイクル施設見学による周知・啓発（リサイクルプラザ）

- ・137団体、7,668人（うち、小学生のリサイクル学習46校、3,149人）の見学者に対し、分別排出の周知に努めました。

参考指標	H27	H28	H29
アイクル施設見学	140団体 8,712人	135団体 8,053人	137団体 7,668人
小学生のリサイクル学習	46校 3,175人	46校 3,211人	46校 3,149人

⑩南処理工場見学による適正処理の周知（南処理工場）

- ・26団体、1,307人が来場しました。

参考指標	H27	H28	H29
南処理工場見学	25団体 1,456人	29団体 1,288人	26団体 1,307人

⑪事業系一般廃棄物多量排出事業者に対する指導（廃棄物対策課）

- ・事業系一般廃棄物多量排出事業者から事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書を215件受理し、立入検査を14件実施しました。（再掲）

参考指標	H27	H28	H29
事業系一般廃棄物減量化等計画書兼実績報告書の受理	207件	203件	215件
事業系一般廃棄物多量排出事業者立入検査	54件	39件	14件

⑫ごみ集積所における排出指導（資源循環推進課）（資源循環久里浜事務所）

- ・市民等への分別排出指導を 309 件、ごみ集積所の新設・移設等を 253 件実施しました。
- ・ごみ収納ボックス を 486 台・カラス除けネット を 2,456 枚配付しました。

参考指標	H27	H28	H29
市民等への分別排出指導	330 件	292 件	309 件
ごみ集積所の新設・移設等	292 件	240 件	253 件
ごみ収納ボックス	486 台	407 台	486 台
カラス除けネット	2,530 枚配付	2,388 枚配付	2,456 枚配付

(5) その他

①各リサイクル法に関する周知・啓発（資源循環総務課）（資源循環推進課）（廃棄物対策課）
（リサイクルプラザ）

- ・パンフレット、HP 掲載等による周知・啓発を継続実施しました。
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のメダルを、回収した使用済み小型家電から抽出したリサイクル金属でつくる「都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト」へ参加しました。

②家庭ごみ有料化の検討（資源循環総務課）

- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向及び新ごみ処理施設整備が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

③廃棄物処理手数料の検討（資源循環総務課）

- ・他都市の廃棄物処理手数料の状況を調査しました。

3. 分別収集と適正処理

(1) 分別収集区分

①ごみの種類・分別区分、排出方法の見直し（資源循環総務課）（資源循環推進課）

- ・9月から集団資源回収で割れた廃蛍光管の回収を開始しました（再掲）。

(2) 収集運搬計画

①直営委託区域（資源循環総務課）

- ・区域に変更はなく、引き続き、14 地区を委託収集区域として定日ごみ収集を行いました。世帯割合は、直営収集区域 36.9%、委託収集区域 63.1%（平成 29 年 10 月 1 日現在）でした。

参考指標	H27	H28	H29
直営収集区域	37.2%	37.0%	36.9%
委託収集区域	62.8%	63.0%	63.1%

(3) 中間処理計画

①再資源化処理（リサイクルプラザ“アイクル”）

- ・缶・びん・ペットボトル、容器包装プラスチック、集団資源回収品目（段ボール・紙パック・その他の紙）について、容器包装リサイクル法に基づく中間処理（選別・圧縮または圧縮梱包）を行い、再資源化しました。搬入量は19,053トン、資源化量は18,613トンでした。

参考指標	H27	H28	H29
搬入量	19,741 トン	19,209 トン	19,053 トン
資源化量	18,956 トン	18,777 トン	18,613 トン

②焼却処理（南処理工場）

- ・燃せるごみとして収集・直接搬入されたごみのほか、粗大ごみ処理施設で破碎処理した後の木質系ごみ等を焼却し、最終処分するごみの減容、及び衛生的処理を行いました。搬入量は99,431トン、焼却量は89,338トンでした。

参考指標	H27	H28	H29
搬入量	101,296 トン	100,336 トン	99,431 トン
焼却量	89,372 トン	92,175 トン	89,338 トン

③粗大ごみ処理（南処理工場）

- ・委託による戸別収集や直接搬入された粗大ごみを形状・材質等に応じて前処理し、破碎処理を行った後、可燃物は焼却し、鉄類は磁選機で資源物として回収しました。搬入量は、3,233トン、処理量は3,186トンでした。

参考指標	H27	H28	H29
搬入量	3,179 トン	3,114 トン	3,233 トン
処理量	3,185 トン	3,095 トン	3,186 トン

④民間施設における中間処理（資源循環総務課）（資源循環推進課）

- ・店頭等で拠点回収した使用済み乾電池99トンを、民間処理施設へ処理委託しました。
- ・市内16か所の公共施設等でボックス回収した使用済み小型家電16トンを、国の認定を受けた再資源化事業者へ引き渡しました。
- ・アイクル搬入分を除く集団資源回収17,292トンは、資源回収協同組合により有価物として直接売却されました。

参考指標	H27	H28	H29
使用済み乾電池	91 トン	93 トン	99 トン
使用済み小型家電	96 トン	19 トン	16 トン
集団資源回収(アイクル搬入分を除く)	19,339 トン	18,151 トン	17,292 トン

(4)最終処分計画

①最終処分（南処理工場）

- ・不燃ごみの処分は、自区内の最終処分場が終了していることから、県外の最終処分場3社に搬出して埋立処分しました。埋立量は5,083トン、破碎不適物処分量は20トンでした。

参考指標	H27	H28	H29
埋立量	5,352トン	5,015トン	5,083トン
破碎不適物処分量	15トン	14トン	20トン

(5)施設整備状況

①施設の長寿命化・延命化対策（資源循環施設課）

- ・南処理工場2号炉補修工事を実施しました。
- ・リサイクルプラザITV設備更新工事を実施しました。

(6)広域処理施設整備状況

①横須賀ごみ処理施設の整備（広域処理施設建設室）

- ・横須賀ごみ処理施設建設に伴う工事を実施しました。
- ・環境影響評価（環境アセスメント）事後調査及び届出を実施しました。
- ・「横須賀ごみ処理施設建設対策協議会」と協議を実施しました。
- ・町内会等を対象とした説明会を実施しました。

4. その他必要事項

(1)計画の進行管理

①計画の点検・評価・見直しの実施（資源循環総務課）

- ・平成28年度実績を基に、計画の数値目標などの達成状況について評価を実施しました。

(2)家庭ごみ有料化の検討

①家庭ごみ有料化の検討（再掲）（資源循環総務課）

- ・全国自治体の有料化導入状況の調査、県内で導入を検討している自治体の情報収集を行いました。ごみの減少傾向及び新ごみ処理施設整備が進んでいることから、当面導入の予定はありませんが、将来的な検討の必要性を考慮して引き続き調査を行いました。

(3)高齢化社会対策

①高齢者のごみ出し支援の検討（資源循環総務課）（資源循環推進課）

- ・福祉部主管の会議・研修に出席して情報収集し、ごみ出し支援の方法について、福祉部と検討を重ねました。

(4) 災害時の廃棄物対策

① 災害時の廃棄物処理体制の確保（資源循環総務課）

- ・「横須賀市災害廃棄物等処理計画」を改訂しました。

(5) 不法投棄対策

① 不法投棄防止対策の強化（資源循環推進課）

- ・パネル展を 10 か所で開催、警察との合同パトロールを 11 回実施、ポスターを 435 か所に掲出、移動式監視カメラの活用をしました。
- ・巡回調査等を延べ 21,667 か所実施し、処理量は 46.68 トンでした。
- ・不法投棄防止対策として夜間監視パトロールを 2 日間実施しました。
- ・不法投棄多発地域 6 か所に環境ポスターを掲出しました。

参考指標	H27	H28	H29
パネル展	10 か所	10 か所	10 か所
警察との合同パトロール	12 回	11 回	11 回
広報掲示板へポスター掲出	436 か所	436 か所	435 か所
巡回調査等	延べ23,530 か所 60.76 トン	延べ25,241 か所 46.43 トン	延べ21,667 か所 46.68 トン
夜間監視パトロール	1 日間	1 日間	2 日間
不法投棄多発地帯への環境ポスター掲出	5 か所	6 か所	6 か所

(6) ポイ捨て防止及び路上禁煙

① ポイ捨て防止及び路上禁煙の徹底（資源循環推進課）

- ・ごみゼロ啓発キャンペーンを実施しました（5月）。
- ・年末年始キャンペーンを実施しました（12月）。
- ・巡回指導を 258 回、喫煙中止指導を 208 件実施しました。

参考指標	H27	H28	H29
巡回指導	260 回	263 回	258 回
喫煙中止指導	465 件	323 件	208 件

② クリーンよこすかの推進に関すること（資源循環推進課）

- ・キャラバン隊キャンペーン等を 82 コース実施し、1,911 人が参加しました。
- ・イベントにおける清掃活動等を 23 回実施し、1,299 人が参加しました。

参考指標	H27	H28	H29
キャラバン隊キャンペーン等	100 コース 3,632 人	81 コース 2,530 人	82 コース 1,911 人
イベントにおける清掃活動等	24 回 1,474 人	22 回 1,307 人	23 回 1,299 人

(7) 海岸漂着ごみ

① 海岸漂着ごみの円滑処理（資源循環推進課）

- ・（公財）かながわ海岸美化財団により海浜地清掃を実施し、処理量は 89,375 kg でした。

参考指標	H27	H28	H29
処理量	115,985 kg	76,485kg	89,375kg

(8) 適正処理困難物・排出禁止物

① 適正処理困難物・排出禁止物の処理に関する指導（資源循環総務課）（資源循環推進課）（南処理工場）（資源循環久里浜事務所）

- ・各施設の実態に沿って、受け入れる一般廃棄物の追加、削除品目検討等、受入内規を見直しました。
- ・市民からの問い合わせや持ち込み時に適正処理困難物・排出禁止物の指導を行いました。

(9) 制度改善要望

① 一般廃棄物の処理に関する制度改善要望（資源循環総務課）

- ・県市長会、神都清、全都清などを通じて、一般廃棄物の適正処理に関する制度改善要望 12 件（延べ 17 件）を国・県に提出しました。

参考指標	H27	H28	H29
改善要望	8 件 (延べ 14 件)	8 件 (延べ 13 件)	12 件 (延べ 17 件)

総合評価

「横須賀市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（平成 29 年度～33 年度）の進行管理は、平成 27 年度実績に基づき設定した目標値の達成状況と、重点施策および関連施策・事業等の実施状況についての評価により実施します。

平成 29 年度のごみ総排出量は 133,041 トンで、基準年度（27 年度）実績と比較して 3.8%減少しましたが、目標値（33 年度）達成まで引き続き減量化策を推進していく必要があります。

また、集団資源回収量は 22,091 トンで、基準年度（27 年度）実績と比較して 8.9%減少し、目標値（33 年度）の水準を維持することができませんでした。引き続き、燃せるごみと不燃ごみに排出される資源の集団資源回収への分別について啓発を推進していきます。

焼却量、埋立量については、基準年度（27 年度）実績と比較して、それぞれ 1.9%、5.0%と減少していますが、目標達成まで大幅な削減が必要です。これは、横須賀ごみ処理施設の稼働に伴い、事業系剪定枝の受入れ先を民間施設に移行したり、不燃ごみ等選別施設の処理により、大幅に削減が図れる予定です。

重点施策に掲げたごみ処理広域化計画による横須賀ごみ処理施設の建設は、平成 29 年度に建築工事に着工して計画通りに工事を進めています。引き続き、ごみの発生・排出抑制に向けた取り組みを進め、横須賀ごみ処理施設稼働後の安定したごみ処理を目指します。

◎ ごみ処理実績について

1 排出量

(1) 種別別排出量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
燃せるごみ		94,751	92,246	90,667	89,399	88,469	△ 930	△ 1.0%
不燃ごみ		5,724	5,513	5,417	5,090	5,105	15	0.3%
資源ごみ		15,013	14,959	14,945	14,462	14,390	△ 72	△ 0.5%
	缶・びん・ペットボトル	7,043	6,955	6,914	6,621	6,522	△ 99	△ 1.5%
	容器包装プラスチック	7,861	7,882	7,911	7,724	7,746	22	0.3%
	乾電池等	102	113	113	110	111	1	0.9%
	その他	7	9	7	7	11	4	57.1%
粗大ごみ		3,075	2,908	3,064	2,900	2,986	86	3.0%
小計		118,563	115,626	114,093	111,851	110,950	△ 901	△ 0.8%
集団資源回収		27,310	25,918	24,262	23,029	22,091	△ 938	△ 4.1%
合計		145,873	141,544	138,355	134,880	133,041	△ 1,839	△ 1.4%

(2) 収集等形態別排出量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
定日収集		85,668	84,769	83,489	81,214	80,196	△ 1,018	△ 1.3%
	燃せるごみ	65,207	64,582	63,464	62,004	61,084	△ 920	△ 1.5%
	不燃ごみ	5,570	5,358	5,206	4,870	4,852	△ 18	△ 0.4%
	缶・びん・ペットボトル	7,034	6,949	6,909	6,617	6,516	△ 101	△ 1.5%
	容器包装プラスチック	7,857	7,880	7,910	7,723	7,744	21	0.3%
許可収集		23,029	20,959	20,691	20,435	20,443	8	0.0%
乾電池等収集		102	113	113	110	111	1	0.9%
粗大ごみ等収集		1,204	1,122	1,054	982	969	△ 13	△ 1.3%
臨時収集		845	923	817	799	817	18	2.3%
直接搬入		7,715	7,740	7,929	8,311	8,414	103	1.2%
小計		118,563	115,626	114,093	111,851	110,950	△ 901	△ 0.8%
集団資源回収		27,310	25,918	24,262	23,029	22,091	△ 938	△ 4.1%
合計		145,873	141,544	138,355	134,880	133,041	△ 1,839	△ 1.4%

(3) 他市受入れ量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
三浦市	燃せるごみ	7,836	7,888	7,887	7,849	7,779	△ 70	△ 0.9%

2 処分量（処理施設搬入量）

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
焼却施設		105,450	102,929	101,296	100,336	99,431	△ 905	△ 0.9%
積替保管施設		5,724	5,513	5,417	5,090	5,105	15	0.3%
資源化施設		20,173	19,935	19,741	19,209	19,053	△ 156	△ 0.8%
粗大処理施設		3,098	2,931	3,179	3,114	3,233	119	3.8%
直接資源化		22,150	20,942	19,547	18,282	16,991	△ 1,291	△ 7.1%
合計		156,595	152,250	149,180	146,031	143,813	△ 2,218	△ 1.5%

注1) 資源化施設処分量には、リサイクルプラザに搬入される集団資源回収（段ボール、紙パック、その他の紙）を含む。

注2) 焼却施設量は三浦市分を含む。

3 資源化量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
リサイクルプラザ		19,633	19,336	18,956	18,777	18,613	△ 164	△ 0.9%
集団資源回収		22,046	20,825	19,339	17,702	16,855	△ 847	△ 4.8%
焼却灰スラグ化ほか		7,114	6,913	6,375	6,854	6,549	△ 305	△ 4.4%
粗大金属ほか		293	331	527	464	438	△ 26	△ 5.6%
合計		49,086	47,405	45,197	43,797	42,455	△ 1,342	△ 3.1%

注) 集団資源回収のうち段ボール、紙パック、その他の紙はプラザの資源化を含む。

4 資源化率

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
資源化率		33.6%	33.5%	32.7%	32.5%	31.9%	△ 0.6%	
県内平均資源化率		25.3%	25.7%	25.2%	24.8%	-	-	
全国平均資源化率		20.6%	20.6%	20.4%	20.3%	-	-	

注) 資源化率(%) = 【資源化量】 ÷ 【排出量合計(集団資源回収量を含む)】 × 100

5 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を除く		770	756	750	743	742	△ 1	△ 0.1%
集団回収を含む		947	926	910	896	890	△ 6	△ 0.7%

【参考】

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人口（人）		421,839	418,783	415,375	412,413	409,478
世帯数（世帯）		188,822	189,583	189,831	190,249	191,026

注) 人口及び世帯数は10月1日現在の住民基本台帳による。

【参考】

神奈川県一般廃棄物処理実績報告の定義に基づく生活系、事業系ごみの内訳

1 生活系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		65,241	64,639	63,494	62,015	61,120	△ 895	△ 1.4%
不燃ごみ		5,571	5,364	5,207	4,871	4,855	△ 16	△ 0.3%
資源ごみ		14,995	14,946	14,946	14,471	14,396	△ 75	△ 0.5%
粗大ごみ		3,003	2,844	3,004	2,850	2,933	83	2.9%
小計		88,810	87,793	86,651	84,207	83,304	△ 903	△ 1.1%
集団回収量		27,310	25,918	24,251	22,562	21,631	△ 931	△ 4.1%
合計		116,120	113,711	110,902	106,769	104,935	△ 1,834	△ 1.7%

注) 概ね、定日収集、粗大ごみ(収集・直接搬入)、乾電池等収集、集団資源回収の合計。

(2) 1人1日排出量

単位：グラム

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
集団回収を含む		754	744	729	709	702	△ 7	△ 1.0%

2 事業系ごみについて

(1) 排出量

単位：トン

区分	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	29年度対前年度比較	
							増△減	増減割合
可燃ごみ		29,510	27,607	27,173	27,833	27,786	△ 47	△ 0.2%
不燃ごみ		153	149	210	219	250	31	14.2%
資源ごみ		18	13	10	9	17	8	88.9%
粗大ごみ		72	64	60	50	53	3	6.0%
合計		29,753	27,833	27,453	28,111	28,106	△ 5	△ 0.0%

平成 29 年度ごみ排出量及び資源化量の内訳

ごみの種類	排出量 (トン)		資源物	資源化量(トン)	資源化率
燃せるごみ	88,469	≫	焼却灰 (溶融スラグ)	6,479	4.87%
粗大ごみ	2,986	≫	粗大金属	115	0.09%
			金属チップ	179	0.13%
			家具	4	0.00%
缶・びん・ペット ボトル	6,522	≫	スチール缶	631	0.47%
			アルミ缶	724	0.54%
			びん(無色、茶色、 その他の色)	2,017	1.52%
			ペットボトル	1,582	1.19%
			ガラス残さ	1,076	0.81%
容器包装プラス チック	7,746	≫	容器包装プラス チック	7,838	5.89%
段ボール、紙パッ ク、その他の紙	4,785	≫	段ボール	3,427	2.58%
			紙パック	81	0.06%
			その他の紙	1,237	0.93%
乾電池、小型家電	111	≫	乾電池	99	0.07%
			小型家電	16	0.01%
新聞、雑誌、古着 類、その他金属	17,294	≫	新聞、雑誌、古着 類・その他金属	16,857	12.67%
蛍光管類	23	≫	蛍光管類	23	0.02%
不燃ごみ	5,105	≫	不燃金属	70	0.05%
合 計	133,041		合 計	42,455	31.9%

* 平成 29 年度 資源化率は、 $42,455 \div 133,041 \times 100 = 31.9\%$

県内19市の資源化率と原単位(1人1日排出量)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

平成27年度 (2015年度)			平成28年度 (2016年度)		
資源化率	原単位	集団回収を含む原単位	資源化率	原単位	集団回収を含む原単位
1. 鎌倉 48.7%	1. 座間 718g	1. 座間 739g	1. 鎌倉 47.9%	1. 逗子 695g	1. 座間 720g
2. 逗子 43.0%	2. 横浜 735g	2. 綾瀬 772g	2. 逗子 47.6%	2. 座間 701g	2. 綾瀬 769g
3. 三浦 40.4%	3. 藤沢 749g	3. 茅ヶ崎 816g	3. 三浦 41.3%	3. 横浜 731g	3. 茅ヶ崎 811g
4. 横須賀 32.7%	4. 横須賀 767g	4. 海老名 821g	4. 横須賀 32.5%	4. 藤沢 745g	4. 大和 812g
5. 海老名 32.5%	5. 綾瀬 772g	5. 大和 825g	5. 海老名 31.4%	5. 横須賀 762g	5. 海老名 825g
6. 座間 30.8%	6. 逗子 775g	6. 秦野 845g	6. 座間 30.8%	6. 綾瀬 769g	6. 秦野 838g
7. 藤沢 29.7%	7. 伊勢原 788g	7. 横浜 868g	7. 藤沢 29.1%	7. 川崎 770g	7. 逗子 848g
8. 綾瀬 28.8%	8. 川崎 790g	8. 川崎 873g	8. 綾瀬 28.4%	8. 伊勢原 781g	8. 川崎 849g
9. 南足柄 26.0%	9. 茅ヶ崎 816g	9. 伊勢原 874g	9. 南足柄 25.0%	9. 茅ヶ崎 811g	9. 横浜 857g
10. 横浜 25.5%	10. 海老名 821g	10. 相模原 892g	10. 横浜 24.9%	10. 大和 812g	10. 伊勢原 860g
11. 平塚 24.9%	11. 大和 825g	11. 藤沢 898g	10. 平塚 24.9%	11. 海老名 825g	11. 相模原 877g
12. 厚木 24.4%	12. 秦野 831g	12. 平塚 901g	12. 厚木 24.1%	12. 秦野 826g	12. 藤沢 888g
13. 小田原 23.9%	13. 相模原 873g	13. 南足柄 908g	13. 大和 23.8%	13. 相模原 859g	13. 平塚 897g
14. 秦野 23.6%	14. 平塚 901g	14. 逗子 914g	14. 小田原 23.4%	14. 平塚 897g	14. 南足柄 904g
15. 茅ヶ崎 21.9%	15. 南足柄 908g	15. 厚木 928g	15. 茅ヶ崎 21.7%	15. 南足柄 904g	15. 横須賀 915g
16. 伊勢原 21.5%	16. 厚木 928g	16. 横須賀 930g	16. 秦野 20.6%	16. 厚木 923g	16. 厚木 923g
16. 大和 21.5%	17. 三浦 940g	17. 三浦 977g	17. 相模原 20.0%	17. 三浦 937g	17. 三浦 972g
18. 川崎 19.8%	18. 小田原 1,003g	18. 小田原 1,003g	18. 川崎 19.5%	18. 小田原 1,002g	18. 小田原 1,002g
19. 相模原 19.5%	19. 鎌倉 1,005g	19. 鎌倉 1,005g	19. 伊勢原 18.4%	19. 鎌倉 1,040g	19. 鎌倉 1,040g
19市平均	25.2%	789g	24.8%	781g	866g
県内平均	25.2%	797g	24.8%	790g	872g
全国数値	20.4%	888g	20.3%	876g	925g

注) 神奈川県一般廃棄物処理実績報告の原単位は、「推計人口」を用いているため、本市のごみ処理実績の1人1日排出量(17ページ)と一致しない。

全国の資源化率（人口10万人以上50万人未満）

平成28年度			
順位	県名	市名	資源化率（%）
1	岡山県	倉敷市	54.0
2	東京都	小金井市	50.2
3	神奈川県	鎌倉市	47.5
4	東京都	国分寺市	40.1
5	埼玉県	加須市	39.1
6	東京都	調布市	37.3
7	東京都	東村山市	36.5
8	愛知県	小牧市	36.3
9	東京都	府中市	35.3
10	東京都	西東京市	34.6
11	東京都	立川市	34.5
12	東京都	武蔵野市	34.3
13	鳥取県	米子市	34.2
14	東京都	三鷹市	33.2
15	埼玉県	朝霞市	32.7
16	神奈川県	横須賀市	32.5
17	北海道	苫小牧市	30.8
18	神奈川県	座間市	30.6
19	東京都	昭島市	30.5
20	神奈川県	海老名市	29.7

* 「一般廃棄物処理実態調査結果」（平成30年3月 環境省）を基に作成

* 人口10万人以上50万人未満の237自治体中16位

県内19市のごみ処理経費(平成28年度実績)

『神奈川県一般廃棄物処理事業の概要』を基に作成

総処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	厚木市	28,562
2	平塚市	29,824
3	小田原市	32,028
4	海老名市	34,401
5	南足柄市	34,703
6	川崎市	35,004
7	秦野市	36,069
8	横浜市	36,346
9	相模原市	37,321
10	綾瀬市	38,918
11	伊勢原市	40,265
12	大和市	43,055
13	茅ヶ崎市	43,138
14	三浦市	46,033
15	座間市	46,486
16	横須賀市	50,346
17	鎌倉市	50,953
18	藤沢市	55,089
19	逗子市	59,573
19市合計(1ト当たり)		38,230

収集経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	小田原市	17,203
2	三浦市	17,961
3	厚木市	18,639
4	海老名市	19,626
5	南足柄市	19,880
6	秦野市	20,418
7	相模原市	22,275
8	平塚市	23,373
9	綾瀬市	23,383
10	伊勢原市	25,670
11	座間市	26,577
12	茅ヶ崎市	27,575
13	横須賀市	27,603
14	逗子市	27,946
15	川崎市	28,293
16	横浜市	28,699
17	大和市	30,362
18	鎌倉市	41,649
19	藤沢市	46,787
19市合計(1ト当たり)		27,651

中間処理経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	横浜市	8,808
2	南足柄市	9,845
3	平塚市	11,320
4	厚木市	12,622
5	川崎市	13,391
6	小田原市	14,592
7	鎌倉市	14,700
8	茅ヶ崎市	16,538
9	伊勢原市	17,538
10	秦野市	18,175
11	海老名市	18,949
12	綾瀬市	19,516
13	相模原市	20,286
14	大和市	20,683
15	藤沢市	22,904
16	座間市	23,048
17	横須賀市	27,204
18	三浦市	31,395
19	逗子市	34,133
19市合計(1ト当たり)		14,121

(参考) 有料化・戸別収集市

鎌倉市 (H27) 逗子市 (H27)、藤沢市 (H19)、大和市 (H18)

最終処分(埋立) 経費

順位	市区町村名	1ト当たり (円)
1	相模原市	5,266
2	川崎市	11,196
3	秦野市	17,256
4	伊勢原市	26,466
5	厚木市	34,335
6	大和市	36,321
7	小田原市	40,552
8	茅ヶ崎市	40,935
9	三浦市	47,117
10	南足柄市	62,333
11	横浜市	63,760
12	横須賀市	90,940
13	平塚市	109,953
14	藤沢市 <small>注1)</small>	582,315
15	鎌倉市 <small>注2)</small>	-
16	逗子市 <small>注2)</small>	-
17	海老名市 <small>注3)</small>	-
18	座間市 <small>注3)</small>	-
19	綾瀬市 <small>注3)</small>	-
19市合計(1ト当たり)		47,953

1人当たり年間処理経費

順位	市区町村名	1人当たり (円)
1	厚木市	9,623
2	横浜市	9,696
3	平塚市	9,768
4	川崎市	9,843
5	海老名市	10,363
6	秦野市	10,874
7	綾瀬市	10,927
8	南足柄市	11,445
9	伊勢原市	11,475
10	相模原市	11,695
11	小田原市	11,716
12	座間市	11,887
13	茅ヶ崎市	12,763
14	大和市	12,763
15	横須賀市	14,006
16	藤沢市	14,972
17	逗子市	15,102
18	三浦市	15,736
19	鎌倉市	19,339
19市合計(1ト当たり)		10,902

※推計人口数で算出

注1) 藤沢市は埋立量が251tと少なく、最終処分経費が146,161千円であるため単価が高くなっている。

注2) 鎌倉市と逗子市は不燃ごみを直接埋立てていないため、1トン当たりの経費を算出していない。

注3) 海老名市、座間市、綾瀬市は、3市で「高座清掃施設組合」を構成し、各市で組合分担金を支出しているが、組合分担金は中間処理費に分類している。